

第128号

こんにちは

みささ議会です

令和4(2022)年

1月号

主な内容

- 町長・議長 新春対談 …………… 2～3
- 12月定例会・常任委員会で慎重審査… 4～5
- 議員6人が一般質問 …………… 6～12
- 議案の賛否 …………… 13
- 大好きみささ町 …………… 14

無病息災を願って

早朝のどんどさん(東小鹿)

「町民と二人三脚で取組んでいく年に」



(左 吉田道明議長、右 松浦弘幸町長)

令和3年を振り返って

司会 新年おめでとうございます。松浦町長は2期目を迎えられ、吉田議長は新たに議長に就任されました。はじめに令和3年を振り返ってそれぞれの感想を伺います。

町長 コロナ禍が2か年続き観光や関連する産業、農業、地域活動などに大きな影響が及びました。

また、人の動きがなくなることで町民活動もそうですが健康面でも与える影響も非常に危惧しており、まずは、平常時に戻していきながら、さらに発展させていけるよう戦略を考えていく、そんな年だったと思います。

議長 同じようなことですが、ワクチン接種率が今84%位ですが、せめてあと5%以上は何とかならなかったかなと思います。

また、再審査中で結論は出ていませんが日本遺産が継続になってほしいと願っています。

町政2期目で重点的に取組んでいきたいことは

司会 松浦町政は2期目を迎えられました。重点的に取組んでいかれたことを伺います。

町長 一つ目は、これまで痛手を受けた観光産業やいろいろな事業者の皆さんの回復を目指すとともに、新たな起業や事業の取組みを支援することで就業機会に結びつけていくなど、町内の事業者と一緒に取組んでいくことが大事だと思っています。

二つ目は、健康であるということです。コロナ禍の影響もありますが、活動が減ってしまい体調を崩し病気が重症化する人が増えないか心配しています。検診を充実させたり、高齢者を中心に普段生活の中で運動を取り入れていける仕組みをつくりたいと思います。

また、温泉を観光だけでなく町民にも恩恵を受けられるように、医療機関とも連携しながら仕組み

を作っていきたいと思います。

三つ目に、人口減少という課題がある中で、人材を育成していくことは持続あるまちづくりにとって非常に重要なことです。令和7年の新校舎開校を目指して小中連携した教育ビジョンが実施できるよう体制を整えていきます。

四つ目は、地域や集落では少子高齢化による地域の停滞という課題があります。行政と住民がともに助け合う仕組みをお互いに考えていきたいと思っています。

議員定数の見直し

司会 議会改革でこれから取組んでいきたいことはありますか。

議長 それは、議員定数の見直しについてです。これは議会に課せられた課題であり、これまでも議会の中で特別委員会を立ち上げ協議してきました。三朝町に適した議員定数は何人が適正なのか、町民の意見も聞きながら早めに検討に入り、2年後くらいまでには町民に示していく必要があると考えています。

町民の健康づくりに向けて

司会 町長から温泉を観光だけでなく町民の健康増進に活用したいとありましたが、具体的には。

町長 まずは検診を充実させてい

かなければなりません。さらに健康づくりを進めていく中で、フレイル予防につながる運動プログラムに温泉病院なども参画をもらい、温泉にゆっくり入りながらラドンの温泉効果を楽しんでもらうようなイメージを持っています。

議長 健康については、町長のおっしゃる通りだと思います。鳥取県は全国で3番目にがんの死亡率が高く、三朝町は肺・胃がんが全国平均より随分高かったと思います。有効な検診を進めていくべきです。

また、以前、県外の温泉地でしたが、モニターツアーで5日間の日程の前後で健康診断を受けてもらい、温泉の健康効果を実感してもらうようなことをしていました。

町長 昔に三朝温泉でも似たようなことをしたことがあります。時代も変わってきており、内容を变えてやってみても面白いかもしれません。

人口減少対策や人材育成

司会 人口減少を食い止め、人材育成を図っていくには。

町長 人口減少対策は非常に難しい問題です。これといった妙手があるわけではなく、様々なことを試



しながら施策を進めていかねばなりません。一方、人材の育成は三朝町の将来のためにもこれまで以上に力を入れていく必要があります。

議長 子どもが減っている要因の一つに大学などにいく費用が非常に高いことがあります。例えば町独自の奨学金制度を創ってみるのも一つの方法だと思います。

町長 奨学金などの金銭的支援も大事ですが、こればかりでは町の財政が持ちません。いろいろな施策にチャレンジしながら必要な対策を見出していきたいと思います。

今年の抱負

司会 令和4年の松浦町長、吉田議長のそれぞれの抱負や思いを伺います。

町長 キーワードは交流と定住です。これまで高速通信基盤の整備

や町営バスの運行などを進めてきましたが、さらに努力し定住に繋げていきます。また今年も、フランスのラマルー・レ・バンと交流を始めて30年、台湾石岡区とは15年の節目の年になります。町民をはじめ、子ども達や若い人を中心に交流機会を増やしていきます。こうした中、まちづくりにおいては、共助も取り入れながら行政と町民が二人三脚で取組みを進めるスタートの年にしたいと思います。

議長 いよいよ北条道路(山陰道)が令和8年に開通し、179号(湯梨浜工区)も山陰道に直結開通になり、北条湯原道路も鳥取県側は近い時期に開通になります。あとは、倉吉土蔵群、三朝温泉、東郷温泉へ直接結ぶ高速道路が必要不可欠だと考えています。道路ができることで経済圏ができ所得の向上にもつながります。このため、できるだけ早い時期に道路建設に向けた中部の議員連盟を立ち上げたいと思っています。



〔司会〕

議会広報常任委員会
小椋 泰志委員長

※撮影のためマスクを外しています。

常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

空き家対策推進

問 空き家対策は、どこまで進んでいるのか。実際に取り組む姿勢が見えない。空き家改修の実施例はあるのか。

答 所属単位の取り組みに留まっている現状である。検討チームを組織して課題整理し協議する。計画に基づく具体的な施策を立て、実施する方向で進めたい。年に一度進捗状況を報告する機会を設けたい。

消防団再編案

問 奥部の場合、消防団が到着するまで何分かかるのか、その辺を考えてほしい。『縮小する』ということだが、町民の生命財産をどうやって守るのか、十分考えて、この改革を進めてほしい。

答 階級・役職の人員整理について、地区団長会の中でも議題として協議を進めているが、まだ答えは出ていない。引き続き協議を進めていく。



消防団整列（消防の日）

福祉センター駐車場用地借用契約解除

問 福祉センターの駐車場は使えないということか。

答 1月以降は駐車場用地として使用出来ないが、所有者の方から「社協の駐車場が足りない場合言ってもらえれば、使っても構わない」という話を頂いている。

問 駐車場料金は発生しないのか。

答 料金は発生しないと思う。

三朝町新型コロナウイルスワクチン追加接種

問 集団接種はあるのか。

答 集団接種はある。75歳以上の方は、接種日を指定して通知をする。74歳以下の方は、予約を取っていただきたい。

問 74歳以下でも予約をするのが難しい方もいると思う。74歳以下の方でも予約不要は出来ないものか。

答 予約が集中したので、予約を分散させたい。「ファイザーでもモデルナでも、どちらでも良い」と言われるなら、予約不要で出来るが、ワクチンの量のことを考えると、75歳以上の方だけ指定させていただくことで、ご理解いただきたい。



ワクチン接種会場での問診の様子

問 後期高齢者の方々の送迎はどうなっているのか。

答 送迎は、地区単位で同じ日に割り当てているので1回目、2回目接種と同じ方々が、同じ日になるように設定させていただく。バスに乗られた方には、バスを走らせる連絡をさせていただこうと思う。

史跡三徳山巖正保全区域の民有地の購入

問 来年の買い上げ予定が出てない。今年度で買い上げは最後なのか。

答 今年度が最終年度である。

三徳山日本遺産再審手続き

問 9月に三徳山日本遺産申請の再審手続き以降の報告を受けていない。経過報告、見込みについて聞きたい。

答 10月6日に、委員2名、文化庁の担当2名来られ、現地調査を受けた。リモートで委員1名が討論に参加された。11月5日に計画を提出。現在も審査中で結果を待っている状況。

産業民生常任委員会

しっかり守る農村基盤交付金

問 7月豪雨で被災した小規模の災害に対する補助制度の内容は。

答 5万円から13万円以下の復旧については、これまで自己負担だったが、補助率1/2の制度をつくりたい。

問 既に復旧が完了した被災はどうか。

答 7月豪雨の被災に対応したものであれば、対象になる。



7月豪雨災害

有害ごみの分別収集について

問 令和4年4月から収集が始まるが、電池が入っているものは小型家電でも有害ごみになるのか。

答 取り外しできないリチウム電池等を含んだ小型家電は有害ごみになる。



有害ごみ回収BOX

マイナンバーカード取得について

問 カードを作成すればマイナポイントがもらえるとあるが、既に作成した人とこれから申請する人でポイント取得に不公平感はないか。

答 不公平感がないよう国で制度が作られている。しっかりと広報していきたい。

ラドン線による健康効果研究事業

問 岡大のアンケート基礎調査への協力とのことだが、対象範囲はどこまでか。また結果の公表もしてほしい。

答 20歳以上の全町民を対象にしている。分析結果の公表については、岡大と調整したい。

日本遺産の再審査の現状報告

問 11月に地域活性化計画を再提出したが、再審査の結果はいつ頃わかるのか。

答 いつ頃になるかははっきりしていないが、結果がわかり次第お知らせする。

サンサンバスの運行方針は

問 現在、小河内線と穴鴨線で運行しているが、小鹿線や三徳線でも実施はしないのか。

答 観光関連で三朝温泉や三徳山方面へのバス運行が結構あることから、次期の課題として検討していきたい。

問 運行から2か月が経過し課題や問題点などあると思うが、見直し時期を決めているか。

答 期限を決めて見直し時期を決めているわけではなく、年数回ある交通協議会の中で協議していく。

情報通信基盤設備改修事業（FTTH化）の工事状況は

問 宅内切替工事において、工事内容に苦情がでていたが対応はどうしているのか。

答 苦情の申し出があった場合は、役場や事業者で内容を聞き、納得いただいたうえで工事を進めるよう努めている。



光ケーブル宅内切替工事

多目的駐車場の急速充電器の有料化

問 燕趙園等にある充電器は無料だったと思うが、なぜ有料化する必要があるのか。

答 これまでの普通充電器は普及促進のために無料にしていたが、急速充電器に更新したことに伴い、県内の他の公共施設と同様に利用者負担を求めることにした。

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

あなたの声を 町政に

6人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

| ページ | 質問事項 | 質問議員 |
|-----|----------------------------------|-------|
| 7 | 1 防災について | 吉村美穂子 |
| 8 | 1 松浦町政の二期目の施政方針を問う | 山口 博 |
| 9 | 1 子どもたちの公園について 2 若杉山について | 河村 明浩 |
| 10 | 1 今後4年の町政の課題と取組みについて | 小椋 泰志 |
| 11 | 1 町道、生活道路の安心安全な点検 2 林道の管理について | 藤井 克孝 |
| 12 | 1 松浦町政2期目の政策について | 松原 成利 |

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)

防
災

問 防災に対する現状と今後の対策

答 防災学習をしながら必要な対策を実施

町一斉の防災訓練で意識を高めては

吉村

防災に対する啓もうのため、町一斉の防災訓練を行えないか。

町長

コロナ禍でもあり、事前準備に時間を要するため、一斉は難しい。地域の特性などを検証する上でも、集落ごとを対象とした方が効果的だと考える。防災訓練を、継続していく集落を、増やしていきたい。

備蓄品の有効活用と公的備蓄品の整備

吉村

消費期限、耐久期限のある備蓄品の有効活用と公的備蓄品の整備を。

町長

防災訓練などには活用している。集落での、防災学習や小中学校での防災教育に提供し活用していく。公的備蓄品は、県や他の市町村との連携備蓄、協定団体からの供給体制を整えている。



備蓄食料

避難所でのプライバシー保護と災害弱者といわれる方への対応

吉村

妊婦や母子専用スペース、授乳場所、暴力被害から守るためのシェルターなど、災害弱者といわれる方への対応。

町長

感染防止対策と共に、プライバシー保護対策としてパーティションなどの対策を講じている。旅館組合と災害時の宿泊施設の提供協定を締結し、災害弱者といわれる方への取り組みを整えている。避難所となる地区の公民館への、世帯用ポップアップテントなどの整備を進めていく。

公民館のない地区、公民館が土砂災害警戒区域内にある地区の防災対策

吉村

避難所、公民館が土砂災害警戒区域や浸水想定区域内にある集落への対策は。

町長

砂防事業や急傾斜対策の事業で土石流や崖崩れ防止を順次行っている。日頃から地域、集落での防災学習の機会を増やしていく必要がある。



吉村美穂子 議員



避難所の様子

共助として「支え愛マップ」作りを

吉村

「支え愛マップ」を作る事で集落での人の絆が強くなり、自然災害だけでなく、詐欺、不審者、事故などへの人為災害の防止になるのでは。

町長

すでに行っている集落もあるが、社会福祉協議会と連携しながら積極的に進めていきたい。



「支え愛マップ」作りの様子

問 町長公約の実現はどのように取り組むのか

答 町民と二人三脚で公約を実現していく

温泉活用の健康推進には温泉の積極活用が必要だ

山口

日々温泉の恩恵を享受している町民は限られており、より多くの町民が温泉の恩恵を享受できる入浴券配布等の積極的な施策が必要だ。

町長

温泉利用については色々な思い・意見があり、今回色々な課題を改めて整理していきたい。



河原風呂

三朝温泉以外の地域が稼ぐ観光施策が必要だ

山口

三朝温泉・三徳山とそれ以外の観光で稼ぐ手立てを持たない地域に対して、温泉とセットにした奥部の空き家を利用した民泊や農業体験などで全町に潤いが循環する稼ぐ観光施策を是非考えるべきだ。

町長

実行するに際して大切なことは自分で取り組もうとする人たちの確保であり、町はその人たちを支援していく。

三朝温泉観光協会から三朝町観光協会にしては

山口

三朝温泉とそれ以外の地域とでは観光に対する温度差が大きいと考える。観光に関する温度差解消には、町内各所にある多くの観光資源を活用した観光を推進する事が必要であり、そのためには全町を対象とした三朝町観光協会への変更が必要と考える。

町長

現観光協会は民間主導で発足したものと認識しており、町が先行するより現観光協会の中で議論を深めていただくことが必要と思う。

農林業の持続性を高める方策を

山口

町内ではこれまで特産品開発等に取り組んできた例があるが、途中でポシャッタ例が多くある。農林業の持続性を高めるためには、息の長い取り組みと支援策と後継者育成も非常に大事と思う。

町長

町内の農業形態が多様化しており、支援策も多様なものが必要で、米作りを見ても高齢化で大変となり、集落の機械共同利用で維持する形になってきておるため、持続や支援が非常に難しくなっている。

野菜作りでは、三朝町の少品目少量生産方式が少し弱くなっているため定着できるよう支援が必要と思う。



山口 博 議員

若者定住には多様な施策の提案が必要だ

山口

若者・子育て世代の移住を進めるためにはトップレベルの施策ではなく、他市町に例を見ない注目を集めるような思い切った施策の提案が必要と考える。

町長

若い人の定住策は常に考えており、先ずは、三朝町は住みやすい所だという基本的なことを大事にPRしつつ、各種の施策を組み合わせることも大事と考えている。



農産物直売所 三朝おひさま市

公園

問 「子どもたちのための公園」の構想は

答 少し時間をかけながら造っていききたい

公園の構想は

河村

町長の初登庁時に、子どもたちのための公園を造りたいと述べておられたので、どのような構想かお聞きする。

私は、三朝の自然と木材を活かした遊具や屋内で遊べるのが望ましいと考える。また、観光客を含め、町外者にとっても魅力ある公園を提案したい。

町長

長年、子どもの公園を造りたいと思っていた。皆さんから幅広く意見を頂戴しながら、構想を練っていききたい。

河村

三朝町の資源や人材を生かしていただけるものを策定してほしい。

公園を整備する場所は

河村

整備する場所について、考えていることがあれば教えてもらいたい。

町長

まだ頭がないが、いろんなところで町民皆さんのお気持ちを聞きながら、整備に向けて頑張っていきたい。



遊具で遊ぶ子どもたち



河村 明浩 議員



自然に触れる川遊び

観光

問 若杉山の整備と公表は

答 地域の皆さんと協議をしていききたい、デジタルを使って情報を流す

増加が見込まれる登山者への対策は

河村

「山と渓谷」の特集で全国絶景低山50選となったことで、登山者が多くなると思うが。

町長

記事にもある山頂から広がるパノラマは絶景であり、観光の資源として大きなポテンシャルを有している。

河村

道路、駐車場及び案内看板等の整備は。

町長

とても大事なことで、活用を図るべき地域の皆さんと協議していきたい。



若杉山山頂からの風景

パンフレットを作成しては

河村

高清水トレイルなどと連携したパンフレット作成はどうか。

町長

当面はデジタル情報を優先していく。

河村

今後も地域と町と連携してほしいし、この山を維持すべき。

町長

熱心に取り組んでいる竹田地域協議会と一緒に活用を考えていきたい。

政策

問 三朝温泉の観光振興と経済の活性化を

答 リピーターを増やし町内での消費を促していく

落ち込んだ観光客を増やし、経済を活性化していくには

小椋

温泉や山に重点を絞った新たな取り組み、飲食店の増加対策、町内の他の魅力地の発掘と連携が必要ではないか。

町長

それぞれが大事なことだと認識している。三朝温泉全体として、お土産品やお店の活用などまだまだできていない部分もあるので、事業者の皆さんと一緒に考え、加えて観光客の視点、ニーズに立ってリピーターを増やしながら魅力ある観光商品を提供し、消費額を増やしていきたい。

健康と絡ませた温泉の活用策は

小椋

温泉の効能を活かした健康づくりを観光に活かさないか。

町長

熱気浴施設に県外や町外からのリピーターが増えており、今後のニーズとしてあるかもしれない。



温泉街の風景



小椋 泰志 議員

観光振興を町全体で展開すべき

小椋

温泉街だけでなく、町内の名所や神社仏閣、特産品などを繋いで町全体で観光に関心が持てる仕組みをつくってはどうか。

町長

身近な自然や祭り、行事や食材などが観光の魅力につながれば情報発信を支援し、地域の活性化や消費の拡大につなげたい。

政策

問 集落の活力を維持していくための方策は

答 関係人口の関わりや共助のやり方と併せて考えていく

集落維持が町の活力につながる

小椋

集落の力がなくなると、町全体の活力がなくなると考えるがどうか。

町長

これまで集落をベースにした村づくりの中で人口維持や人の活躍の場をつくってきており、町政の中の基本だと思っている。

今後、集落をベースにした後継者や人口対策、運営等について地域の皆さんや協議会などとも話し

合いながら取組む必要があると感じている。

特産品の振興に向けて

小椋

高齢者にやりがいを持ってもらうための特産品の振興を進めてはどうか。

町長

高齢者だけでなく次世代の若い年齢層につなげていくためにも、新しい作物を提案していくなど進めていきたい。

三朝町版の人材支援「お助け隊」ができないか

小椋

集落の総事などでマンパワーの不足が一番の課題。三朝町版のお助け隊をつくり人材支援しては。

町長

こちらからの一方的なお願いではなく、町外の若者の協力など関係人口を増やしていくことで対応できないか、地域協議会でも提議してみたい。



水路の維持管理作業

生活

問 町道、生活道路の安心安全な点検は

答 安全に利用できる道路の維持管理に

町道、生活道路の点検は

藤井

生活に密接した国道や県道、町道、生活道路の点検はどのようになっているのか。

町民が安心安全に生活できるような安全確保は。

町長

町道のパトロールについては、豪雨や強風の場合は現象が収まった後に、そして雪解けの後に実施している。

日本郵政グループ4社と平成24年3月に「地域における協力に関する協定」を締結し、郵便配達等で道路の異変を発見した場合はお知らせいただくこととなっている。

安全プログラムを策定しては

藤井

安全確保に関する基本方針をまとめ、安全プログラムを策定してはどうか。あわせて、関係機関と連携して安全性の向上をどのように確保しようとしているのか。

町長

町では平成27年3月に三朝町通学路交通安全プログラムを策定



藤井 克孝 議員

し、警察、町の各課、小中学校、教育委員会で構成している三朝町通学路安全対策推進協議会において、通学路の点検や安全確保に向けた取り組みを行っている。



町道の様子（福本橋付近）

林道

問 林道の管理体制は

答 被害状況等を見ながら計画的に実施

林道の管理は

藤井

大雨による洪水、災害による林道の被害が発生した場合、適切な整備及び安全を図る上で必要な林道整備はどのように行っているか。

町長

林道の側溝清掃に必要な予算も増額して対応しており、被害状況等を見ながら計画的に実施してい

る。今後も集落や森林所有者の協力をいただきながら最良な方法を検討していきたい。

藤井

豪雨、洪水が発生すると倒木や落石があり、さらに鳥獣被害で荒らされた後、側溝等に土砂がたまり、洪水によって道にあふれ出す。洪水、台風の後には素早く点検をして、通行止めなどの標識を出す必要があるのでは。

町長

町の場合は林道の中でも大規模林道や基幹林道、それから森林作業をして山の事業もしておられる所を優先でやっていくとしか言えない状況。努力はしていく。



町内林道の様子

問 松浦町政 2 期目の政策について

答 持続するまちづくりに努力する

人口減少と過疎化への対応は

松原

町長は選挙前に人口減少と過疎化への対応や、温泉を生かしたまちづくり等について、5つの見出しで13項目の推進目標を示されているが、どんな対応か。

町長

10月に町営バスの運行を開始したが、人口減少・過疎化対応は様々な形があり、解決しても次の課題が生まれる。それらに対応しながら持続するまちづくりに努力する。

小売・移動販売事業者の支援制度創設を

松原

町の活気と生活圏維持のためには、小売店や移動販売等の存続維持への支援制度が必要ではないか。

町長

支援策としてプレミアム商品券の発行を行ったところだが、この度、移動販売事業者さんの県の支援制度へ申請が採択されたとのこと、併せて支援したい思いはある。

松原

日常の買物は電気や水道と同じようにライフラインの一つと考える時期であり、お店や事業者の存続維持は行政も責任の一端を担うべきではないか。

町長

地域の人で利用し活用することが必要。事業者さんはボランティアではないので、業が成り立つよう誘致された過程を大事に、地域で運営していくような仕組み、協力、支援、それは利用することではないか。

奥部生活者の移住相談等も必要では

松原

地域交通対策がはじまったが、一方で奥部生活者への移住相談等も進めるべきではないか。

町長

幹線から離れてお住いの高齢者のお宅を訪問し、交通や生活面の聞き取りを行っているが、不便はあっても住み慣れた地域に暮らし続けたいと言われる方がほとんどで、移住の希望があれば相談に応じたい。



松原 成利 議員

観光事業への価値観の差の解消は

松原

本町が潤うためには、町内や地域で観光事業に対する価値観や受け止め方の温度差の解消が必要であり、皆様によく知っていただくために温泉施設の格安利用制度を創設してはどうか。

町長

温泉だけでなく自然、歴史、文化、食材といった地域の資源を大切に思ってくださいことは大切で、毎月26日は風呂の日で入浴割引、その他イベント、キャンペーン、プレミアム商品券等を利用していただきたい。

温泉を生かした健康なまちづくり、稼ぐ観光とは

松原

町民の皆様は政策への理解と自らも誘客活動にご協力いただくことで、ひいては本町が潤うのではないかと。また、以前に調査された町内名勝やアグリツーリズム等も連携をするべきではないか。

町長

新年度から健康増進とラドン温泉を連携させた仕組みの体制づくりを進める。稼ぐ観光には町内消費を高め活性化を図るべく、身近にある自然や祭り等の観光の魅力に感じていただけるものを観光地サイドの一方的にならないよう連携しつつ発信していきたい。



地域内店舗 ポプラ JA 三徳店

【議案に対する賛否】

| 議案番号 | 議員名（議席順） 議案名 | 森 貴美子 | 小 椋 泰志 | 河 村 明浩 | 吉 村 美穂子 | 松 原 成利 | 松 原 茂隆 | 能 見 貞明 | 石 田 恭二 | 山 口 博 | 藤 井 克孝 | 遠 藤 勝太郎 | 吉 田 道明 | 結 果 |
|----------|----------------------------------|----------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|---------------|--------------|--------|
| | | | | | | | | | | | | | | |
| (11月臨時会) | | | | | | | | | | | | | | |
| 町長提出議案名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 71 | 令和3年度三朝町一般会計補正予算（第6号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| (12月定例会) | | | | | | | | | | | | | | |
| 町長提出議案名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 72 | 令和3年度三朝町一般会計補正予算（第7号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 73 | 令和3年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 74 | 令和3年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 75 | 三朝町営バスの管理及び運行に関する条例の設定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 76 | 三朝町空き家等の適正管理に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 77 | 三朝町国民健康保険税条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 78 | 三朝町税条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 79 | 三朝町国民健康保険条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 80 | 三朝温泉多目的駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 81 | 財産の取得について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 82 | 鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |
| 83 | 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | △ | 可決 |

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。

※吉田道明議長及び欠席議員を除く賛否状況です。

【陳情】 12月定例会の陳情に対する審査結果です。

| 件名 | 提出者 | 審査結果 | 審査意見 |
|---------------------------------------|------------------------|------|--|
| 鳥取県内に放射性廃棄物の最終処分場を建設させない議会決議のための陳情 | 反核・平和の火リレー 鳥取県実行委員会 | 趣旨採択 | 最終処分場の県内建設については容認されるものではないが、国内の何れかの場所に必要とされることは避けられない事実でもあり、検討していかなければならない課題と判断する。 |
| 放射性廃棄物を生む原子力発電の停止を求める意見書提出に関する陳情 | 反核・平和の火リレー 鳥取県実行委員会 | 趣旨採択 | 電力供給を火力発電に頼る部分が主となっている現状や、CO2排出削減が求められている世界情勢において、原子力発電の早急な停止を求めることは時期尚早と考えられる。 |
| 「成年後見制度利用支援事業に係る給付要件の緩和と予算の増額について」の陳情 | 一般社団法人 鳥取県社会福祉士会 | 趣旨採択 | 後見人、被後見人の財政的負担軽減のほか、制度を取り巻く諸課題の解決に向け総合的な検討を要する。 |

誰もが自分らしく過ごせる 町にするために

みなさん、NCNで放映された「人権啓発動画」はご覧になりましたか。私たち三朝中学校3年生が、新型コロナウイルスによる偏見や差別、勝手な思い込みなどをテーマに、制作しました。コロナ禍の3年間で中学生の成長を描くストーリーです。

制作にあたってはそれぞれが、脚本・撮影・編集・監督などの役割を分担し、鳥の劇場の方や映像作家の方にも指導・協力してもらいました。30分という長い動画づくりは、経験をしたことがないことが多く、苦勞しながらも後輩たちや三朝町の方々に私たちの思いが伝わるように、がんばりました。

この動画が放映され、見てくださった方から「動画が良かった」というお言葉をたくさんいただきました。

今回は新型コロナウイルスに関連する問題を取りあげましたが、あらゆる差別がなくなり、誰もが自分らしく過ごせる世の中にするためには、人権意識を高めて行動することが大切です。私たちは、これからも人権を忘れず誰もが住みやすい三朝町にしていきたいです。



三朝中学校3年
中田 実羽

議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

3月定例会の日程予定（案）

会期 3月4日～3月18日
(15日間)

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

・町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
・議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者 吉田 道明
編集 長 吉田 道明
議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
副委員長 森 貴美子
委員 松原 茂隆
委員 吉村 美穂子
委員 河村 明浩

「多様性」という言葉をよく耳にするようになった。現代ほど、様々な背景をもった人達が集まった時代は無いと思う。70代以上の方々が経験された戦後の苦しい時代、「食べ物」が最も大切だった。高度経済成長期の恩恵を受けた40代から60代。「お金」があれば、何でもできると思っていた。そして、物やお金に困ったことが少ない30代以下の中心は、「何のために生きるのか、存在の価値・自分の居場所」だと言った。そして更に、物心ついた頃からインターネットやスマホが当たり前の25歳以下を「Z世代」と呼ぶらしい。「世代間ギャップ」「ジェネレーション・ギャップ」という言葉もよく聞くようになった。若い世代が「何を考え、何を望んでいるのか」知ることは大切だし、歩み寄る姿勢を持つことも大事だと思っ。

若者にそっぽ向かれないことがないように、若者の意見も反映できる議会を目指したい。

(森 貴美子 記)

